

## 主な活動の紹介

【おしかけふれあい塾（公民館→学校へ）そして、油谷地域全体へ】

先に述べた公民館運営協議会では、公民館活動をしているグループが1年に1回程度、子どもと給食を共にし、授業や昼休みにふれあう「おしかけふれあい塾」を開催しています。今では学校・教師・子どもとの間に笑顔が弾けるふれあい活動が展開しています。この生きがい感が地域全体に拡大し、地域住民が自主的に学校を支援する光景が随所に見受けられるようになってきました。これは「油谷地域協育ネット」への高まりであり、まさに地域総がかりで子どもを育てる意識が醸成されつつあります。



楽しい昼休み



家庭科授業支援



読み聞かせ



サマースクール星空

【学校が地域へ支援を要請（学校→地域）】

学校は学習支援・ふるさと支援・体験活動支援・生活環境支援・安全支援等の登録ボランティア制度を設けています。それぞれ必要に応じて地域に支援を要請してボランティアをお願いしています。昨今は教員と地域の人たちが顔なじみとなり、これまで以上に、教員が直接授業支援依頼などしやすくなってきて、授業に住民が盛んに入参しています。



図書館IT化へ



油谷こどもミュージカル

【油谷こどもミュージカル（子ども→地域づくり）】

子どもは地域で守られるべき存在ではありますが、過疎と高齢化の地域で子どもに出番を作り、役割を与え、その活動に地域は賞讃を与えるというプラスのスパイラルづくりにも取り組んでいます。子どもの合言葉は「地域の皆様に笑顔と元気を届け、感動の渦を巻き起こそう」「子どもの手による地域活動」として今年度、県民活動パワーアップ賞を受賞しました。

地域で、学校を綺麗に

## 成果と課題

「おしかけふれあい塾を発展させながら油谷地域協育ネット」へ。この仕組みづくりと成果等が認められ「全国優良公民館」として文部科学大臣賞を受賞しました。これを機に更なる「知の循環型社会の構築」と「より良きコミュニティの構築」をめざして、深化充実を図っていききたいと思います。

## 今後の取組

【今年よりはベターな来年度へ、さらに、よりベターな次の年度へ】

長門市は公民館型の地域協育ネットに取り組んでいます。子どもを地域の中心においた「地域総がかりで子どもを育てる仕組み」を通して、地域の高齢者や大人が子どもを育て、その子どもが地域を育て大人を育てる。そうして「一段高いレベルでまた大人が、子どもが」という「知の循環型社会の構築」のために公民館の果たす役割は大きいと考え、次のような改善点や課題に取り組んでいきます。

①油谷地域協育ネットが充実してきた今、協議会への立ち上げ ②公民館がコーディネートする公民館型を、県内に広めていくための更なる方策と理論化 ③地域の様々な資源を掘り起こし、学校へ提供するメニューづくりと学校の教育課程への位置付け ④保育園・小学校・中学校、さらには家庭教育との連携と支援の拡充 等